

中学生と高校生を対象に
中高生ワークショップを開催するにあたって

CAPのワークショップに関心を持っていただきありがとうございます。中高生ワークショップは、授業の2コマ(100分)×2日間です。開催するにあたっては、以下の条件を満たしている必要があります。ご確認の上、お申し込みください。

① おとなワークショップを終えていることが前提です。

こどもにワークショップを提供する場合には、事前に必ずワークショップを受けるこどもたちの保護者、先生方が“おとなワークショップ”を受けておく必要があります。こどもワークショップの内容と、暴力防止についての正しい理解と知識をお子さんと共有するためにも“おとなワークショップ”にぜひご参加ください。

※ おとなワークショップは同じ年度内で、必ずこどもワークショップ前に実施していただきます。

② 1クラス単位で行います。

“中高生暴力防止ワークショップ”は、本来20人～30人を想定して作られています。教室の中でこどもたちの自由に発言する場、安心して発言する場を保証するために、1クラス単位で実施します。こどもたちはワークショップに“参加”することで、多くのことを学びます。また、クラス替があってもワークショップの効果が残るように、学年に複数クラスがある場合は、全てのクラスで実施します。

③ 担任の先生の協力が必要です。

ワークショップには担任の先生の理解と協力が必要です。事前の打ち合わせ、当日の参観、ワークショップ実施後のこどもたちへのアンケートをお願いしています。

④ 打ち合わせの際、名簿を準備していただきます。

事前の打ち合わせで、クラスの名簿を見せてもらい、クラスの様子を教えてください必要があります。こどもの人権、暴力の問題を扱うワークショップなので、細かな配慮が必要だからです。また、ロールプレイの中で、クラスの子と同じ名前を使わないように名簿で確認します。被害者役や加害者役と同じ名前の子がクラスにいると後で問題が生じる可能性もありますし、こどもたちが集中できなくなる恐れがあるからです。

⑤ トークタイムについて。

2日間ともワークショップ終了後、こどもたちがCAPのメンバーと話をする時間と場所をとってもらいます。基本的にワークショップの復習と質問の時間です。

⑥ こどもワークショップの見学・参観はできません。

こどもたちの集中力を保ち、安心して自由に発言する場を保証するために、保護者が見学・参観することはできませんので、予めご了承ください。

⑦ 中高生ワークショップの料金は1クラスあたり3万円+消費税です。

お問い合わせ、お申し込みはおきなわCAPセンターへ

電話&FAX：098-975-9753

メール：okicap1996@gmail.com